



学校だより 令和7年12月23日 No. 329

柏崎市立柏崎小学校

柏崎市学校町1番88号

TEL 0257-22-2196 FAX 0257-24-0304

HP <http://www.kenet.ed.jp/hakushou/>

E-mail hakushou@kenet.ed.jp

学校 HP



「ふだんのくらしのしあわせ」

校長 池田 弘

5年生は、総合的な学習の時間に「幸せなまちづくり～自分にできることを見つけよう～」というテーマで、「福祉」について学んでいます。柏崎市社会福祉協議会の方々から協力していただき、様々な体験活動に挑戦しています。

はじめに、社会福祉協議会の方から「歳をとるということは？」について話を聞き、高齢者疑似体験を行いました。高齢者の方のことを知るために、用具を装着し、校内を歩いたり本を読んだり物を触ったりしました。体験を通して「やりづらいことや大変なことがあるから、周りの人にサポートしてもらえて助かった。」「今度から、困っていたら手伝ってあげたい。」などの思いを抱いていました。車いす体験では、車いすに乗る役と車いすを押す役を交代しながら、段差を下るときの怖さや坂道を押すときの大変さを実感しました。「無言ではなく、押しながら声をかけてもらおうと安心する。」「歩くよりもスピードが速いと怖いと感じる。」などの気づきがありました。ほかにも、アイマスクと杖を使って校舎内を歩いたり、点訳、音訳、手話について教えていただいたり。さらに、盲導犬と暮らしていच्छる小川さんを講師に招き、日常生活のことや盲導犬の一生について話を聞きました。子どもたちにとって、とても貴重な経験でした。

柏崎小学校の北校舎1階に、くらしのサポートセンター「はまなす」があり地域のお年寄りの皆さんが利用されています。5年生は、今までの学びを今度は実践に生かすために、はまなすとの交流会を企画し、訪問しました。お年寄りの方に楽しんでもらうにはどうしたらいいか考え、準備を進めました。交流会の初日、ドキドキしながらも一緒にストレッチ体操をしたり、自分たちが企画した遊びで交流したり、楽しいひとときを過ごすことができました。交流を終えた子どもたちは「もっとゆっくり話した方がいいと思いました。」「楽しかったよと言ってもらえてうれしかったです。」と笑顔を見せました。緊張しながらも、一人一人の発見があったようです。2回の交流会を通して子どもたちは、相手の立場に立って考えることの大切さ、人に喜んでもらえることへのやりがいを感じていました。

児童の感想です。「ボランティアは、町や人を明るくすることだと思いました。ボランティアをしてもらった人だけでなく、した人も明るくなれると思いました。機会があればまたやりたいです。」はまなすとの交流会の場で、何気なくお年寄りに近づき、耳元で優しく声をかけている姿にも感心しました。

5年生は、この活動を通して少しずつ成長しています。社会福祉協議会の方から教わった言葉「ふくし」とは「ふだんのくらしのしあわせ」をいろいろな体験から実感していました。世の中の人みんなが毎日幸せな生活を送られるように、自分にできることを考え、実践していく子どもたちをこれからも見守っていきます。



今年一年、大変お世話になりました。皆様、よいお年をお迎えください。